

かわの市議会報告 ニュース

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
2022年11月27日に当選してから1年が経過し、
改めて責任の重さを痛感するとともに、身の引き締まる思いであります。
本年も市民の皆様の負託に応えられるよう全力で仕事をしております！

河野麻美



2023年11/30~12/21

小金井市議会 第**4**回定例会



Point 今回の補正予算は、実務的な予算のみで市長の政策意思のわかるものではなかった。次回定例会(2/20~)では、市長が初めて一から編成する予算が上程される。市長公約がどのように反映されるのかが注目です！

予算特別委員会

今定例会では、以下の補正予算等を審議し、可決いたしました！

新庁舎・(仮称)新福祉会館 建設事業再開

現設計(2022年2月の実施設計委託契約終了時点の設計)の検証結果や



市民説明会でのご意見を踏まえ、新庁舎と(仮称)福祉会館の同時竣工、(仮称)福祉会館屋上庭園の人工芝の取りやめ、太陽光パネル発電容量の見直し等を含めた補正予算を可決しました。

2025年7月工事着工、
2028年4月に供用開始予定です。



燃料費補助事業の拡充

詳細は市のHPをご確認ください。



原油価格高騰により事業経営への影響を受けている市内事業者を対象に、昨年10月より申請受付を開始していましたが、対象業種が限られ、申請期間も短いことから、事業の拡充に賛成しました。

申請期間は
3/15金
まで

業種 (中小企業基本法に基づく分類)	次のいずれかに該当すること		購入費用の合計額	補助金額
	資本金の額又は出資の総額	常時使用する従業員の数		
会社又は個人事業主	3億円以下	300人以下	5万円以上10万円未満	1.5万円
	製造業・建設業・運輸業・その他	100人以下	10万円以上20万円未満	3万円
			20万円以上30万円未満	6万円
			30万円以上40万円未満	9万円
			40万円以上50万円未満	12万円
卸売業	1億円以下	100人以下	30万円以上40万円未満	9万円
小売業	5,000万円以下	50人以下	40万円以上50万円未満	12万円
サービス業	5,000万円以下	100人以下	50万円以上	15万円

带状疱疹予防接種

昨年7月より50歳以上の市民を対象に開始した接種費用の一部助成事業について、当初予定していた接種者数を超えたため、追加補正されました。担当課からは、本年度も助成を続けていきたい旨の前向きな答弁もありました！

水銀測定装置購入

市が可燃ごみ処理を委託している浅川清流環境組合において、水銀を含むごみが混入していたことが原因で焼却炉の運転に一部支障が出る事態も発生していることから、搬入物の中に水銀製品の混入がないかどうかの検査を行い、再発防止に努めるため、水銀測定装置を購入することとなりました。



「おくやみ手続き窓口」開設！

深い悲しみにあるご遺族のご負担を軽減するため、ウォークラリー形式で死亡に関する手続きを進められる「おくやみ手続き窓口」が市役所第二庁舎1階西側に開設されました！

※来庁2営業日前までに事前予約が必要となりますので、ご注意ください。



4 小金井市議会 第4回定例会 4度目の 一般質問に登壇

Kawano Question



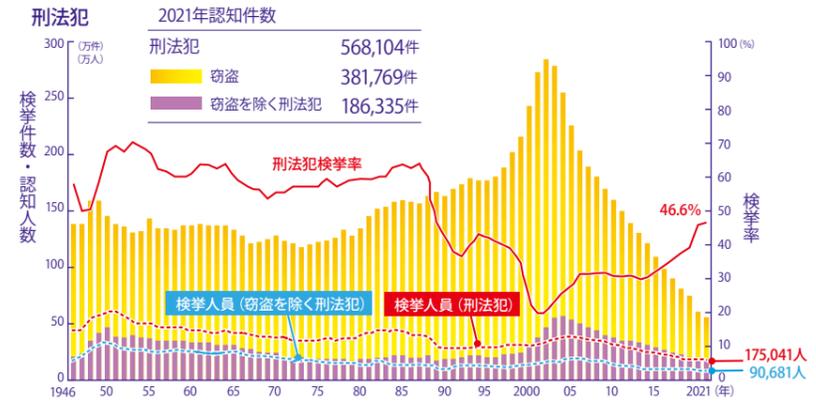
Agenda 1 再犯防止推進のための取組について

この質問の様子は こちらから ご覧いただけます!



我が国の刑法犯の認知件数は、1996年以降、毎年戦後最多を記録し、2002年(285万3,739件)にピークを迎え2021年には戦後最少となった。一方で、再犯者数は減少傾向にあるものの、それを上回るペースで初犯者数も減少し続けているため、**検挙人員に占める再犯者の人員の比率は上昇傾向**にあり、2021年には、48.6%と**刑法犯検挙者の約半数は再犯者**という状況にある。そこで、2016年12月に国・地方・民間が一体となった再犯防止

対策を進めるために、**再犯の防止等の推進に関する法律が成立**し、国において「再犯防止推進計画」が策定された。昨年3月には、「第二次再犯防止推進計画」が策定され、地方公共団体の主体的かつ積極的な取組を推進すること等が示された。



Q1. 昨年4月1日現在で、全国で572団体、東京都だけで見ると23市区町村が策定しているが、**小金井市の「再犯防止計画」の策定を求め**る。

A. 「小金井市地域福祉計画」に包含し、今年1月末をめどに検討結果をまとめ公表予定である。

Q2. 出所時に、福祉サービスを必要としなかった方が、親族・知人からの援助や支援もなく、**不安を抱え社会生活に適應できない状況に陥ってしまう場合**もあると聞く。再犯防止のためには、就労支援や住居の確保に併せて、何よりも地域社会とのつながりを持つための寄添い型の息の長い取組が重要になると感じる。**社会福祉士や精神保健福祉士などの専門のコーディネーターを配置して、不安を抱えた犯罪を犯した方からの相談にも対応できるワンストップの相談窓口を開設**すること、個人情報もありその手法の構築も重要だと考えるが、市の見解は。

A. 本計画は4つ重点施策があり、その1つである「保健医療・福祉サービスの利用の促進」では、包括的相談支援体制の構築として、福祉総合相談窓口の運営を掲げている。当該窓口を犯罪を犯した者が地域住民の一員として地域で安定して生活ができるよう、社会福祉士等の専門のコーディネーターを配置したワンストップの相談窓口と位置づけ、適切なサービスの提供に努めていきたい。

Agenda 2 粗大ごみのオンライン回収予約を進めよう!

この質問の様子は こちらから ご覧いただけます!



小金井市の粗大ごみ回収予約の現状は… 電話、窓口、FAX(聴覚に障がいのある方のみ)のみ 月曜日～金曜日(8:30～17:15)

仕事をしている方からは使いにくいとの声が上がっている。多摩26市中18市がインターネット予約を開始し、LINEを介した申込予約も進んでいて24時間365日の対応が可能である。

Q1. 小金井市において**オンライン化は進んでおらず、そういった動向も伝わってこない**。課題は何か。市民サービス向上の観点からオンライン予約(インターネット・LINE)を開始しないか。

A. 粗大ごみの分類数が21、ホームページに掲載している品目が230と非常に多いことに加え、市場で新たな製品が販売されるとその品目を追加し、それに応じた手数料を設定している。他市では、分類数を4～6程度にする等工夫しており、研究を進める。

Q2. オンライン予約が開始すると、電話対応件数が減り対応にあたる職員を他業務にあてることができ、**事務効率化がはかれる**と考えられるが、市の見解は。

A. 市民サービスの向上とともに「問い合わせ件数減少」と「受付事務に係る業務負担の軽減」も進められるよう、体制整備も含めて検討する。

Point! LINEアカウントについて「いかに利用者に使ってもらうか」という点も重要であり、日々新しいサービスがリリースされている今、利用者がいなければ使われないサービス・使われないシステムになってしまい、最終的にはシステムを閉じてしまう、といったことがよくある。先行市では、チャットボット形式で粗大ごみの手数料の確認から申込受付まで1つの画面で人を介せず対応でき、サービスの拡充をはかっている。市民サービス向上のため、導入を検討してほしい。

インターネット予約: 粗大ごみ品目の分りやすさを向上させることも目標とし、小金井市に最適な手法を検討する必要があると考える。 LINE予約: LINE利用者の方がわかりやすく希望のサービスが受けられるようなメニューの設定など、適宜メニューの整理・追加等を行っていききたい。

Agenda 3 産前産後支援

少子化問題というのは、「国難」とも「静かなる有事」とも表現され、**国や社会の存立基盤に関わる問題**として、今後ますます大きくなっていくと考えられる。

この質問の様子は こちらから ご覧いただけます!



「出生動向基本調査」を見ると、子育てに係る経済的負担の大きさが少子化の一因と考えられ、出産・子育て費用の公的支援の拡充が必要である。

Q2. 近年、産前産後の身体的・精神的に不安定な時期に家族等の身近な人の助けが十分に得られず、**不安や孤立感の中で育児を行うお母さんが少なくない**。産後の母子に対し、**心身のケアや育児のサポート等を行い、安心して子育てができる支援体制を確保**することがかつてなく重要になっている。2017年に厚労省が作成した「産後ケア事業ガイドライン」で、国は産後ケアの内容や安全面、衛生面で施設ごとに質の違いが生じないよう、自治体でマニュアルを作成するよう求めているが、小金井市の現状は。

Q1. 政府は昨年4月から、低所得世帯の女性が産婦人科で妊娠を確認する初回の受診料について、1万円を上限に補助する方針を決定した。妊娠は原則自己負担である。妊娠届を提出した後の妊婦健診は公費補助を受けられるが**提出前には対象にならないため、女性が初回の受診をためらって必要な支援を受けられない**恐れがあることが課題となっている。小金井市での開始時期は。

A. マニュアル作成には至っていないが、要綱を作成し、事故が発生した場合の報告や連絡については規定している。多摩26市で作成している自治体でも事故等の際の連携・連絡のみ作成している状況がほとんどであり、今後研究していく。

A. 既に実施している区市町村もあり、近隣市の動向や事業の優先順位も踏まえ今後、検討していきたい。

Point! 2022年に横浜市から委託を受けている助産院で生後2か月の赤ちゃんが死亡するという事件が発生した。この助産院は、ケアの仕方が統一されておらず、当時事故が起こるまで事故を防ぐための具体的な安全基準を定めたマニュアルがなかった。市では事故が発生した際の報告・連絡について規定していないとのことだが、この事案をみても事故を「発生させないようにすること」が第一なのではないか。二度と悲しい事態を招かないため「妊娠・出産、子育てを親一人の責任にしない」「命を社会全体で守っていく」そのための支援を小金井市全域に広げていただきたいと要望

福島第一原発視察

東日本大震災が起こった2011年から13年。東京18選挙区自民党議員団で「廃炉資料館」及び「福島第一原子力発電所」の視察に行きました。



道中には被災当時そのままに廃屋になってしまった店舗や住居が数多くあり、2011年3月12日にオープン予定の家電量販店は一度もお客様を迎えることなく残されていました。建屋まで数10mの所まで、防護服や靴カバーなしで見学が出来るようになりましたが、現場の作業員は防護服を着用し、限られた作業時間の中で業務にあたっていました(1日に2度CT検査を受ける程度の被ばく量とのこと)。

世界中どこを探しても答えがない問いに、国内外の英知を結集させ挑む方がいること、また、東日本大震災や福島第一原発事故を知らない世代にも、当時の状況反省と教訓を伝えていくことは、今後ますます重要になっていくと感じました。

事業者である東京電力が**重点的**に取り組んでいるのは、以下の**4点**

- 1 被災者に対する保障
- 2 汚染区域を除去し立入禁止区域を0にすること
- 3 ALPS処理水の海洋放出
- 4 格納容器底にある核燃料デブリを除去し適正に処理すること

Kawano Report かわの麻美 近況報告

青年会議所(JC) 卒業式・賀詞交歓会



笑いあり涙ありの卒業式で、8名の先輩方が卒業。私も新入会員としてご挨拶させていただきました!また、賀詞交歓会では多くの来賓の方にご臨席賜り盛大に開催することが出来ました。「実践躬行」を2024年度のスローガンに青年会議所活動のスタートです!

毎日、議員活動と育児に一生懸命取り組んでいます!

第1回 こがねい産業祭り



「農業、商業、観光業」のイベントが統合され、小金井市の魅力を市内外に発信することを目的に盛大に開催されました!非常に寒い日でしたが、多くの市民で賑わっていました!

小金井スクール音楽 フェスティバル



国際ソロプチミスト東京-小金井の主催する音楽フェスティバルの広報担当(カメラマン)でお手伝い。途中写真を撮るのを忘れるくらい、市内小中学生が奏でる演奏や合唱に心を奪われました!

子どもたちと 収穫体験



保育園のお友達と農家さんにご協力いただき収穫体験!

『おおきなかぶ』の絵本のマネをして「うんとこしょ、どっこいしょ」と言いながら嬉しそうにカブを抜く子どもたち。普段は食べないカブを自分で料理して食べたところをもらい、「食育」の重要性について改めて考えさせられるいい機会となりました!

東町2丁目道路補修



道路のヒビが原因で車が通るたび振動があることから、近隣にお住まいの方から対応依頼がありました。早速、市の担当者に依頼し、補修が完了しました!

かわの麻美 プロフィール Profile

- 1988年小金井生まれ小金井市育ち。前原町在住。
- 愛の園保育園、本町小、国立学園小、実践女子中・高、明治大学卒業、楽天グループ勤務
- 自由民主党小金井総支部青年部副部長、小金井青年会議所



かわの麻美
後援会
ご入会者
募集中!

ご入会はお気軽に
メール・お電話等で

お困りごとやご相談等、お気軽にご連絡ください!

連絡先
携帯 090-9249-6546
Mail asami_k104@yahoo.co.jp

SNSで活動内容をご覧いただけます

